

県民のみなさんへ

熊本県知事 細川護熙



梅雨明けとともに、早速真夏の暑さがやってまいりました。県民の皆さん、暑中お見舞申し上げます。今年、尊い命が奪われてしまい、本当に残念です。心からご冥福をお祈りしたいと思います。

さて、県政の課題の一つとして、県の行政改革を検討させていただいてきた行政改革審議会の最終報告書が、先月十九日に提出されました。報告書は、「行政機能活性化のための職員の意識改革」をテーマとして、行政を取り巻く社会経済環境の成熟化・高度情報化・国際化の中で、これからの県職員のあるべき姿を示

唆したのとなっており、私としては、これら貴重な提言の趣旨を十分に尊重するとともに、第一・第二中間報告を受けて継続的に検討している事項も含めて、その実現に努めてまいりたいと考えております。熊本の行政改革が、日本一の行政改革であるといわれるよう頑張りたいと思っております。

また、行政改革審議会の全メンバーには、そのまま審議を続けていただき、県行革のチェックをしていただくようお願いしたところで、

ところで、皆様もご存知のことと思いますが、この秋、いわば「文化国体」ともいえるべき芸術祭が熊本で開催されることになりました。芸術祭といえば、これまで東京・大阪以外では開催されなかったのですが、今回初めて地方で開催されることになったわけです。熊本はその第一回目ということで、本当に素晴らしいことだと思えます。どうか県民の皆様もこの芸術祭に、積極的にご参加ください。よろしくお願いいたします。

これから更に暑さが厳しくなりませんが、皆様には、くれぐれもご自愛いただきますようお願い致します。

県政トピックス

よりよい行政のための提言。行革審最終報告書提出

六月十九日、県行政改革審議会から、最終報告書が提出された。審議会は、昭和五十八年六月にスタートし、行政サービス改善や機構改革に関する中間答申を二回にわたって行ってきた。今回は、最終的答申をまとめたもので、職員の意識改革や採用試験の工夫などの提言も盛り込まれている。

なお、この後、行革のチェック機能などを果してもらうために、全メンバーに引き続き、提言をしていただくことになった。



卒業生の活躍を願って。けんみん大学修了式

六月二十七日、八代市厚生会館で第六回の「けんみん大学」が開かれた。県内各地域で幅広く活躍する地域リーダーを育成するために開校したこの大学も、この日、最終回を迎えた。地域づくりについての講演・パネルディスカッションが行われた後、六回全て聴講された方々に、終了証書が授与された。



スポーツを通して。さわやかなふれあい。身体障害者体育大会



六月二日、身体障害者体育大会が熊本市水前寺陸上競技場など市内三会場で開催された。今年も、二十二郡市と九施設の代表、五百七十人の選手が参加し、さわやかな汗をかくとともに、会場のあちこちで話の輪が広がった。

自然の音楽のハーモニー。はなしのぶコンサート開催

六月三十日、阿蘇野草園で、「はなしのぶコンサート」が開かれた。ハナシノブは、初夏の阿蘇を代表する阿蘇特有の花。この野外コンサートは、これら阿蘇の野の花たちに捧げる音楽祭である。尚絅高校マンダリンクラブの女子高生が奏でる曲が、野草園をはじめ、南阿蘇の自然の中に響き渡り、詰め掛けたファンを魅了した。



テクノポリスの中核研究所始動。

六月三日、熊本テクノポリス構想の中核施設「電子応用機械技術研究所」の開所式が行われた。

電応研は、空港に隣接したテクノリサーチパーク内に位置し、研究所長以下十二人のスタッフで、地元企業の先端技術を利用した新製品開発の支援や地域技術の研究開発に当たる予定。



カッパい、若さをぶつけた四日間。県高校総体開催

六月七日から四日間、県下各会場で、県高校総体が行われた。熊本市陸上競技場には、八十六校、約八千三百人の選手が参加して開会式が開かれ、六年連続優勝の八代東高剣道部・井上雅昭君が力強い宣誓を行った。

この後、県内四十六会場で、水泳・バドミントンなど二十三競技に、若い力をぶつけ合った。

